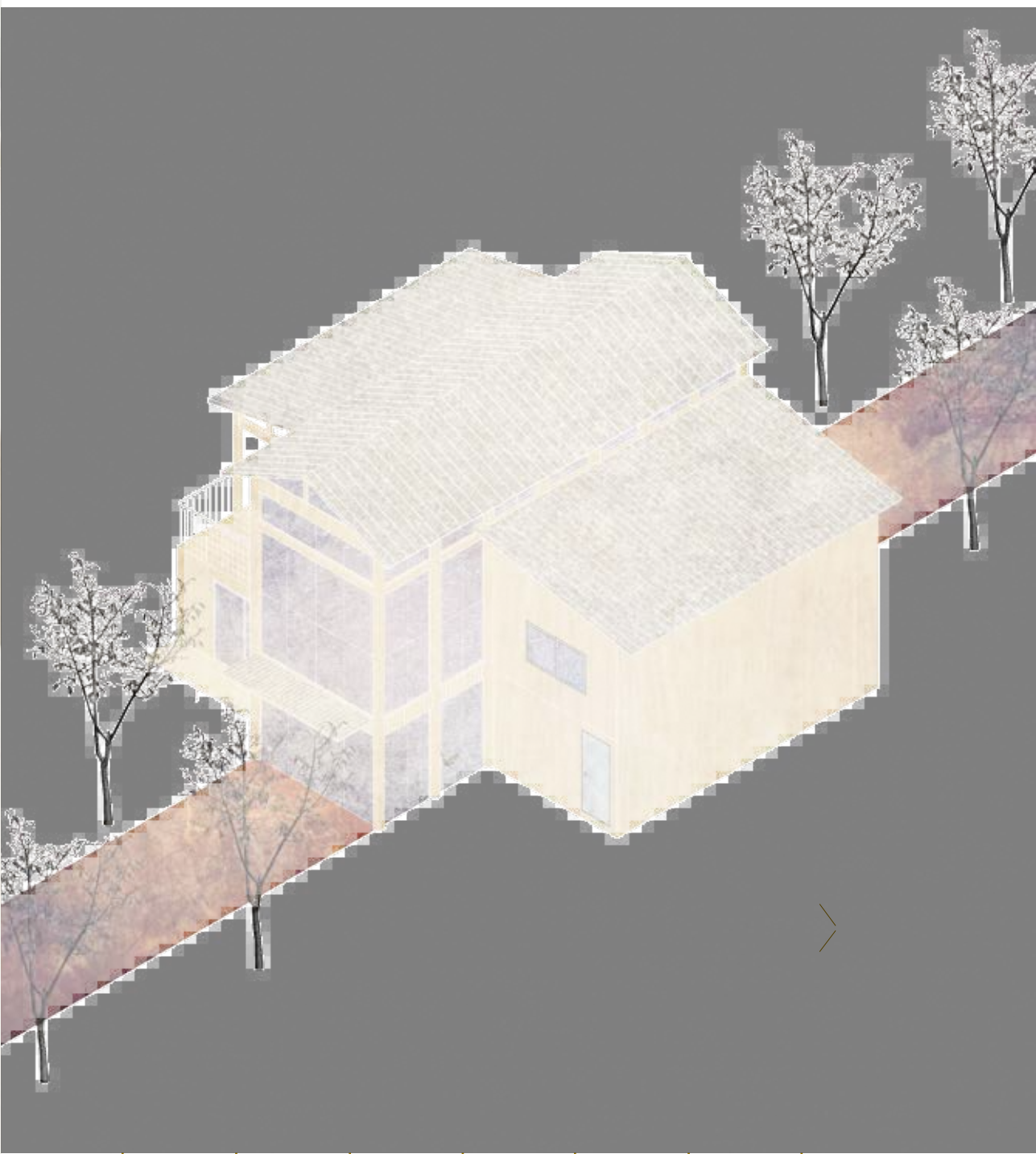




丸太並木の住宅

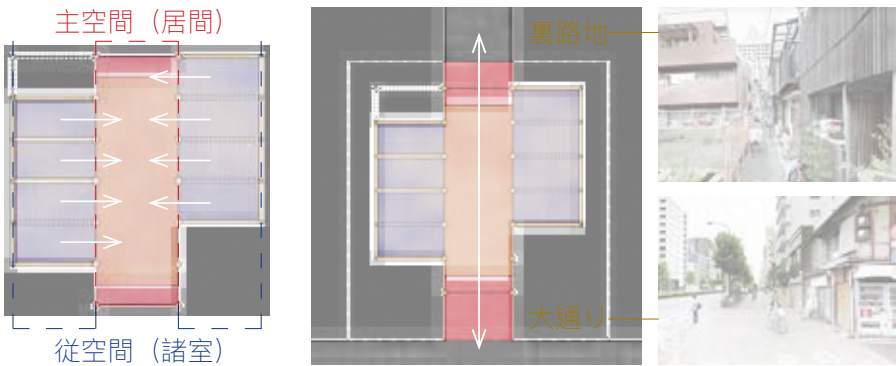
敷地 / 整然とした区画と路地

敷地は東京、月島の一区画。様々な道や路地が直行し、多様な振る舞いが生まれる街。敷地の表には大通り、裏には小さな路地に面している。

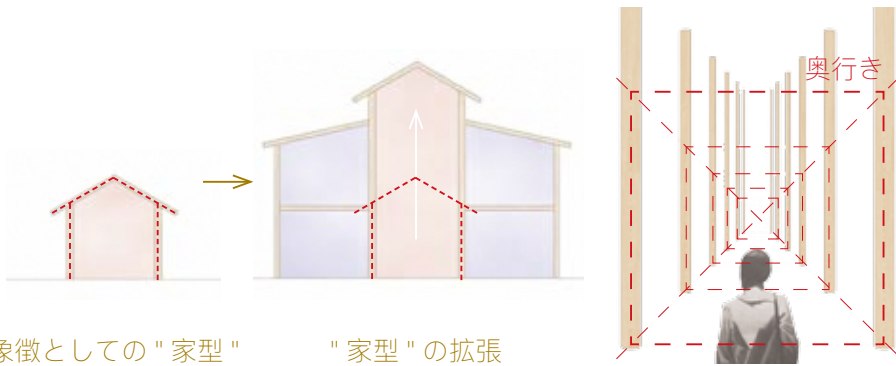


コンセプト / 丸太並木の居間 - 象徴的空間 -

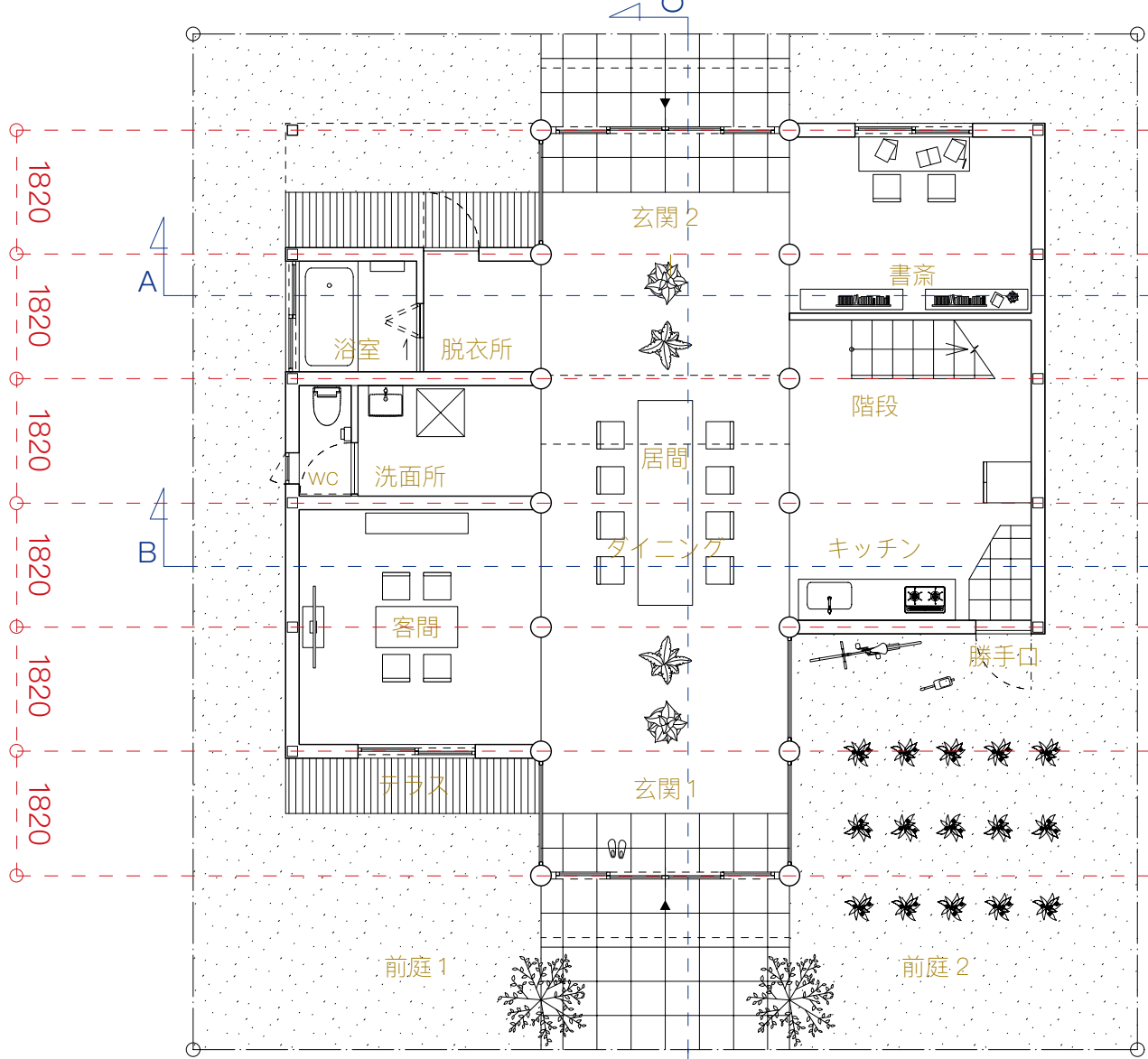
【1：平面】住宅において団欒の象徴である居間空間が、中心として各部屋と接続される。この居間空間は表の大通りと裏の路地空間をつなげる道のような空間である。



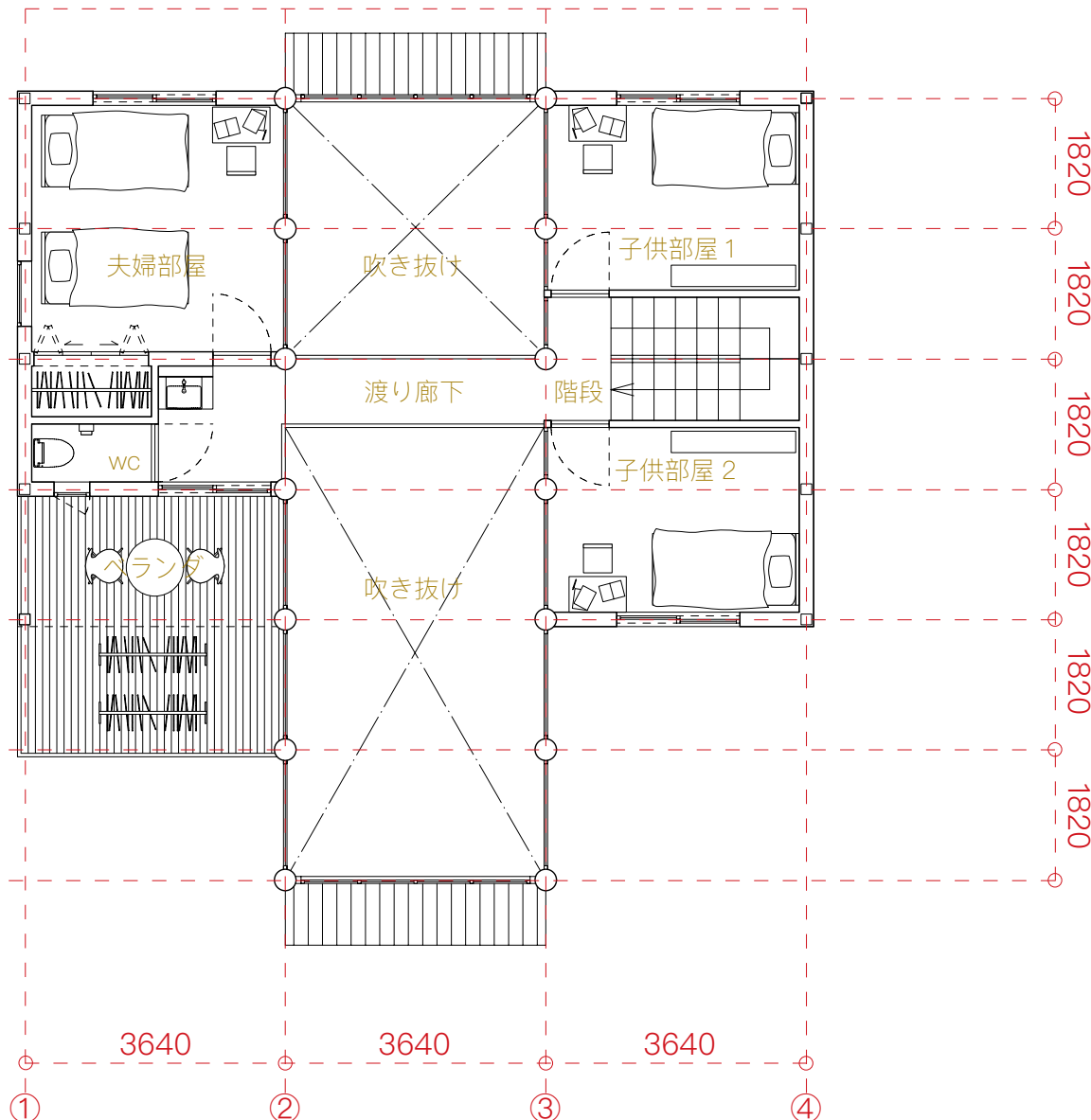
【2：断面】中心の居間は丸太によって垂直に拡張され、更なる象徴性を得る。そして、並木道のように連続して配置された丸太材が中心の空間にリズムを与え、奥行きを強調する。



〈平面図 S = 1:100〉



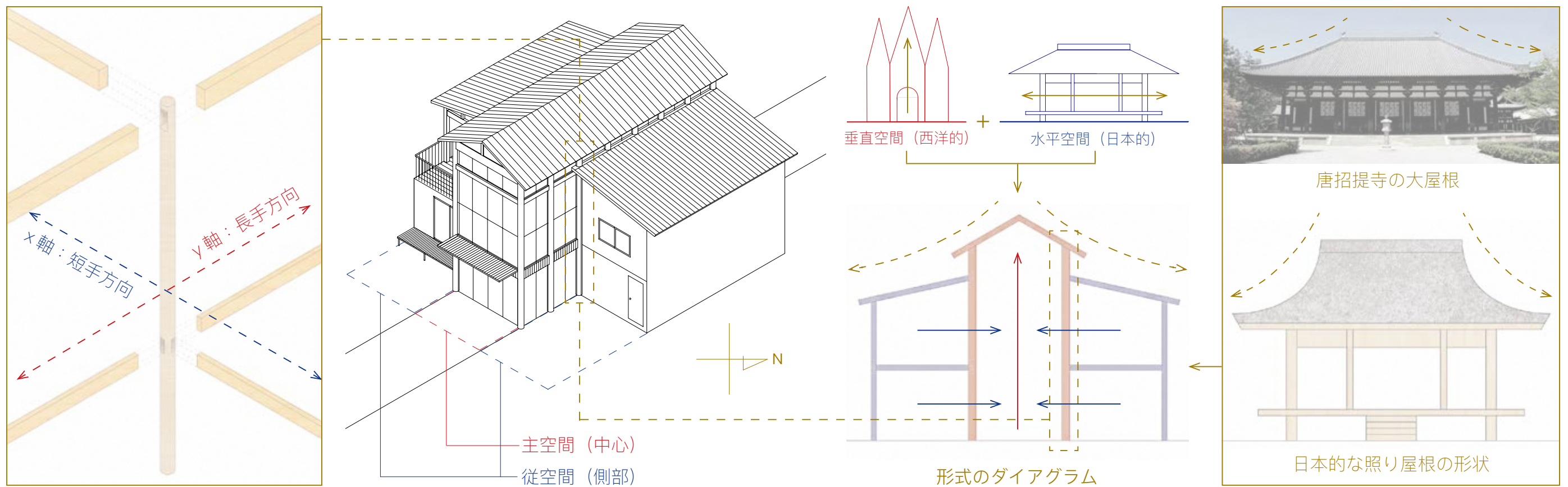
〈Floor 1〉



〈Floor 2〉

構造 / 丸太が支える二種類の空間構成

中心の主空間に連なる丸太が、この建築の構造のコアとして機能する。断面的には、中心の主空間の象徴的な伸びた家型を支える形で、側部の従空間が取り付く構成になっている。この二種類の空間は、水平、垂直にそれぞれ方向性を持ち、構造形式がそのまま空間にも反映されている。屋根勾配は日本的な照り屋根を分解した形であり、建築全体として明快な構成になる。



〈模型写真 - 外観〉

〈断面図 S = 1:100〉

